

令和7年3月吉日

発行：藤岡市小中学校PTA連合会

家庭教育委員会

責任者：橋本 亜貴

～保健室からのSOSに学ぶ～

令和6年10月9日（水）みかぼみらい館小ホールにて「藤岡市青少年健全育成大会」が開催され、講師にジャーナリストの秋山千佳氏をお招きし「子どものSOSきこえていますか」と題した講演が行われました。

記者を経てジャーナリストとしてご活躍される秋山さんは、14年にわたり保健室取材しており、そこから見えてくる子ども達のSOSの具体的な例をあげ、とても分かりやすく伝えてくださいました。

保健室というと怪我や病気の時に利用するものだと思っていました。しかし保健室という家庭でも教室でもない第三の居場所が、それを必要とする子ども達にとって「特別」な居場所であることを知り、保健室への理解が広がりました。

また、そこにいる養護教諭の先生に段々と心を開いていく子ども達のお話を聞き、養護教諭の先生方の存在の大きさやお仕事のやりがいを知りました。

私自身も子どもに携わるお仕事をしています。子ども達のSOSを感じ取り、そのSOSへの関わり方をもっと学びたいと思わせていただける講演でした。

家庭教育委員会副委員長 竹市 縁



写真は講師の秋山千佳（あきやまちか）先生です。当日は140名の方に参加していただきました。ありがとうございました。



## 活動報告

### 第4回家庭教育委員会12月10日（火）

「中学生の気持ち～イライラ、ムカムカ～」というテーマで、ワクワク子育てトークングを実施しました。エピソードに基づいて保護者役と子ども役に分かれてロールプレイを実施し、思春期の子どもとの会話の場面で、親の言うことを聞かない子どもにどう応じたらよいか、保護者としての接し方について意見交換をおこないました。皆さん興味を持って積極的に参加をしていました。



ロールプレイの様子

～参加者の感想の一部を紹介します～

- ・小学生ではまだ体験することができない受験や入試のことを聞くことができ、とても良かったです。
- ・子どもに対するいろいろな考え方があったのが分かりました。この会に参加すると家庭でのストレスが解消されて良いです。（同じ悩みの人と話せるので）
- ・思春期の子どもとの関わり方には正解がないからこそ難しいと思いました。子どもも親もイライラしてしまうと良くないので、場合によっては少し時間を空けるのも良い方法だと思いました。

### ・・・1年を振り返って、家庭教育委員の皆さんの感想・・・

◆周りのご家庭の貴重な体験談を聞ける場で良かったと思います。私だったらと自己を振り返ったり、場面を想像するいいきっかけになったと思います。

◇同級生以外のお母さんの悩みや子育ての工夫を聞けて良かったです。自分の子どものときに少し心のゆとりができると思いました。

◆他の学校の親の方と子どもの話をするいい機会でした。みんなで決定した課題で、意見を出し合い話し合うことで参考になることもあり、とても良かったです。家に帰って子どもに伝えることもできました。

◇他のお母さんたちの話を聞いて、悩みは同じような事なんだと思ってホッとした。

◆自分の意見が必ずしも正しいものではないし、他の人の意見でも自分の子どもに当てはまるものもあったので、とてもいい経験をさせてもらえたと思います。

◇通っている小学校以外の方とお話しする機会はあまりないので、とても勉強になりました。中学生のおうちの方とお話しするのはこれからのためにも良い経験となりましたし、今後に生かしていければなと思います。

1年間ありがとうございました！